

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-03 道路台帳整備事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	道水路管理課	関連課					
分野名	安全で快適な生活が送れるまち						
目標 (目標値)	道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握する。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	65,723	66,596	49,900			
	(国・県)	1,881	4,030	683			
	(負担金等)						
	(一般財源)	63,842	62,566	49,217			
	人員配置数	3.0人	4.0人	4.0人			
	人件費(千円)	24,264	32,865	34,868			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	89,987	99,461	84,768			
	市民1人当りの経費(円)	506	561	478			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名→						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
復元測量処理件数	◎	目標値	105	105	105	105	105
		実績値	104	117	126	110	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
道路台帳整備事業	65,723	道路台帳整備事業	73,427	今後の方向性	B	理由・手法	道路区域の認定・廃止等、随時データの補正、更新を行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	道路台帳の一部である都市基本図・道路区域線図が未更新の状態にあり、また、当市の道水路等境界点の座標が世界測地系に対応していない。						
課題解決のための取組	国及び県の補助を受けて進めている地籍調査事業(官民境界先行型)を利用し、道水路等境界点の座標を世界測地系へ移行していく。また、道路台帳の未更新部分は道路台帳補正業務で更新を進める。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	道路台帳の一部に未更新部分がある。また、道水路等境界点の座標が世界測地系に対応していない。						
中事業の評価	適切=○ 改善=△【2面「評価の視点」を参照】		<input checked="" type="checkbox"/> ①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	地籍調査(官民境界先行型)において世界測地系の座標付けを行い、道路管理システムの構築や都市基本図の補正更新の実施に向けた検討を行うとともに、道路区域線図の補正更新を行う。					A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
						<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	

評価者名

道水路管理課担当課長

原田 裕史

